

令和 8 年度施策及び事業案の概要

I	令和 8 年度主要事業の概要	1
II	主要事業説明資料	
○	「広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動」推進事業	2
○	防災ヘリコプター更新事業	3

危機管理監

I 令和8年度主要事業の概要



当初予算（案）のポイント

広島県防災キャラクター「タスケ三兄弟」

1 基本的な考え方

県民一人一人が、災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう、県民、自主防災組織、事業者、行政等が一体となって「広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動」に取り組むことにより、災害に強い広島県の実現を目指す。

2 予算概要

(単位：千円、%)

区 分	令和8年度当初予算額				令和7年度 当初予算額 (B)	比 較	
	(A)	国支出金	その他	一般財源		(A) - (B)	(A) / (B)
総務費	2,125,350	6,737	347,083	1,771,530	4,238,038	▲2,112,688	50.1

3 主要事業

○ 重要施策

■ 県民の安全・安心な暮らしの基盤づくり

□ 防災・減災対策や危機管理の強化

◆ 「広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動」推進事業（一部国庫）【一部新規】 325,755千円 P 2

<防災教育の推進（自助）> 109,536千円

- ・防災教育を実践する推進員による、小学校等での出前講座の実施
- ・LINE 等を活用したマイ・タイムラインの普及促進を図るための広報の実施 など

<自主防災組織の体制強化（共助）> 50,696千円

- ・土砂災害に係る呼びかけ体制構築・実践の取組や避難訓練等の促進・費用助成
- ・地震・津波に係る避難訓練等の促進・費用助成【新規】 など

<大規模災害等への初動・応急対応の強化（公助）> 165,523千円

- ・大規模地震の発生を想定した関係機関との連携による図上訓練等の実施
- ・災害発生時のトイレ環境の確保に向けた手順整理・訓練の実施【新規】
- ・送配電システム連携に伴う防災情報システムの改修【新規】
- ・南海トラフ巨大地震等を想定した市町図上訓練の実施支援 など

◆ 防災ヘリコプター更新事業（単県）【新規】 (債務 5,392,200 千円) P 3

林野火災消火や山岳救助など消防防災活動を行うためのヘリコプター（装備品、付属品等を含む）の購入

Ⅱ 主要事業説明資料

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動展開中！

「広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動」推進事業

(一部国庫)【一部新規】

**防災 減災
備えんさい!**



1 目的

県民一人一人が災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう、県民、自主防災組織、事業者、行政等が一体となって県民総ぐるみ運動に取り組むことにより、災害に強い広島県の実現を目指す。

2 事業内容

(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	予算額
防災教育の推進、県民の避難行動の促進(自助)	○ 学校でのマイ・タイムラインの普及促進 ・防災教育を実践する推進員による、小学校等での出前講座の実施 ・中学校における防災eラーニング教材(風水害)の展開及び新教材(地震・津波)の制作 ○ LINE等を活用したマイ・タイムラインの普及促進を図るための広報の実施 など	109,536
自主防災組織の体制強化(共助)	○ 地域防災タイムラインを活用した ・土砂災害に係る呼びかけ体制構築・実践の取組や避難訓練等の促進・費用助成 ・地震・津波に係る避難訓練等の促進・費用助成【新規】 ○ 組織をサポートする防災リーダー等の育成・活用	50,696
大規模災害等への初動・応急対応の強化(公助)	○ 能登半島地震で顕在化した課題を踏まえた地震防災対策の強化 ・大規模地震の発生を想定した関係機関との連携による図上訓練等の実施 ・孤立集落等における通信及び物資輸送の強化 ・災害発生時のトイレ環境の確保に向けた手順整理・訓練の実施【新規】 ○ 防災情報システム改修 ・市町河川カメラ・雨量観測局データ取込の拡充 ・送配電システム連携【新規】 ○ 南海トラフ巨大地震等を想定した市町図上訓練の実施支援 ○ 「県・市町防災人材協議会」を通じた県・市町共同での防災人材の確保・育成 など	165,523
合 計		325,755

防災ヘリコプター更新事業（単県）【新規】

1 目 的

平成 24 年度から運航している県の防災ヘリコプターが更新時期を迎えることから、機体の更新を行う。

2 事業内容

（単位：千円）

区 分	事 業 内 容	予算額
防災ヘリコプター の更新	○ 林野火災消火や山岳救助など消防防災活動を行うためのヘリコプター（装備品、付属品等を含む）を購入する。 【主な仕様】 ・ 空中消火性能：消火バケツを用いて 840L 以上で消火可能 ・ 山岳救助性能：高度 6,500ft において救助可能 【機体納入時期（予定）】 令和 10 年 12 月 現行防災ヘリコプターの飛行時間が 5,000 時間に達する（令和 11 年 3 月見込み）までに運用開始	（債務 5,392,200） —